



# 虹のかけはし



〒528-0014

滋賀県甲賀市水口町鹿深3番39号

TEL：0748-62-0234（代） FAX：0748-63-0588 <http://www.kohka-hp.or.jp/>



## 京大での腹腔鏡下手術研修を終えて

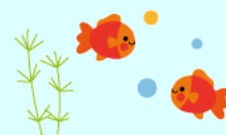
外科医長 龍見 謙太郎

4月16日から6月27日までの2か月半の間、京都大学医学部付属病院へ研修に行ってきました。腹腔鏡下手術の勉強のためです。公立甲賀病院でも胆嚢摘出術に対しては腹腔鏡下手術が標準手術となっていますが、消化管の手術に関してはまだ開腹手術が標準選択です。適応症例は慎重に選ぶ必要はありますが、腹腔鏡手術という選択肢は今後も増えてゆく傾向にあり、患者さんの希望に沿うためにもその技能を身に着ける必要は常々感じていました。

現在京大消化管外科ではほとんどの症例で腹腔鏡下手術が標準選択となっており、また症例を重ねることでそれぞれの場面での術野の展開、手術手技などが定型化され術者、助手、スコピストがこれを共有することで円滑に手術が行われていました。大腸グループの一員として日々の診療や手術に加わり、また他の上部グループの手術にもたびたび顔を出させて頂きました。腹腔鏡での術野は従来の開腹手術とは異なり背側から展開する術野が多く、また拡大視効果もあり、従来意識できなかった膜の構造などを改めて認識することができます。このため腹腔鏡下手術のみならず、通常の開腹手術においても新たな知見を得ることができました。さらに驚いたことは通常、術後1～2日の乏尿期を経て迎える術後の利尿期が、腹腔鏡下手術の後には手術翌日から始まっていることでした。これは単純に創の大きさだけの問題ではなく、開腹によって腹膜や腹腔臓器が外気にさらされ起こる侵襲に対する全身的な反応が回避されることこそが、腹腔鏡下手術が低侵襲とされる所以であるように思えました。

毎日手術漬けになり、また先人や同世代の仲間と議論することで外科医として駆け出した10年前の研修医時代の初心が思い出され、新鮮で楽しい日々を過ごすことができました。この研修で得たものを生かし、公立甲賀病院での腹腔鏡下の消化管手術を定型化し確立することで、よりよい診療が展開できればと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。





☆ 病診連携チーム ☆

**平成25年春、公立甲賀病院が生まれ変わります！**

地域医療連携室 係長 久保 陽子



大変お待ちしております。新病院。「平成25年4月1日新稼働」とご案内出来るようになりました。「ハートフル甲賀 ～愛・やさしさあふれる甲賀病院～」を基本コンセプトに掲げ、地域における中核的な病院として、また、免震構造を採用した大規模災害時の拠点病院として、皆様の健康と安心を守り、そして信頼される医療を提供していきたいと考えております。

では、新病院で充実する設備等を一部ご紹介致します！

- 最新のMRI 検査装置（3T）を増設。
- 放射線治療装置、SPECT・PET、マンモグラフィ（乳房撮影装置）などを更新整備。
- 救急医療をさらに充実。集中治療室（ICU）の新設、救急医療室・手術室の拡充。
- 健診センターを整備。
- 患者さんの社会復帰や在宅支援を充実。回復期リハビリテーション病棟新設、在宅医療部（訪問看護・訪問リハビリテーション・居宅介護支援・訪問診療）強化。
- 緩和ケア病床（12床）を新たに整備。
- 女性専用病棟を新たに整備。
- ヘリポートを整備。
- 駐車場には1250台以上の駐車台数を確保。…現病院は約750台
- 玄関近くにコミュニティバスの停留場を設置。・・・等々。



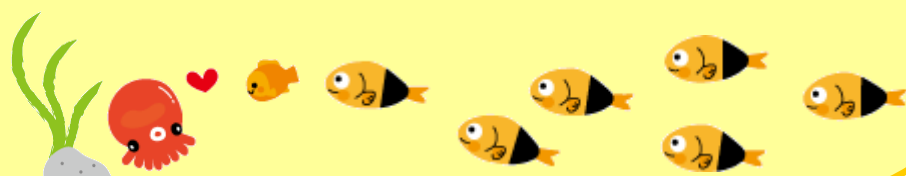
新病院の機能や特徴はまだまだあるのですが、紙面スペースが……。よろしければ新病院稼働前の病院見学会（日時は改めてお知らせいたします）にお越しただいてご覧いただければと思います。

新病院でも、診療所との連携を更に深めて行きたいと考えています。初期診療は、診療所にお任せして、紹介予約で受診していただくようなシステムを確立していきたいと思っています。

紹介状をお持ちいただければ、別途選定療養費も不要となり、スムーズな受付・受診をしていただけます。地域医療連携室を通じて、ご予約をお願いします。

今後ますます重要となる地域医療連携。新病院になっても、いえ新病院になるからこそ、“顔の見える連携づくり”を心掛けていきたいと思っています。

そして、更なる地域医療の充実に向けて、公立甲賀病院の地域医療連携室として使命感を持って、がんばります！





# がん相談支援センターのご紹介

がん相談支援センター 臨床心理士 木本 美際

がん相談支援センターは、がんに関する相談窓口です。がんのことやがんの治療について知りたい、今後の療養や生活のことが心配など、がんの医療に関わる質問や相談にお答えしています。当院に受診されていない方もご利用いただけますので、お気軽にご利用ください。看護師、臨床心理士、社会福祉士、その他のスタッフが話を伺い、解決方法を一緒に考えます。



例えば…

がんと言われてショックで何も手につかない。イライラする、落ち着かない。

家族としてどのように関わればいいのか分からない

医療費や生活費のことが心配。

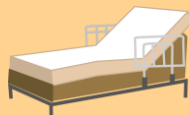
介護の必要な患者を自宅で一人で世話をするのは不安…。

医師の説明がよくわからない

…などなど



がん療養をサポートするためのグッズも置いてあります。手にとって試していただくこともできます。

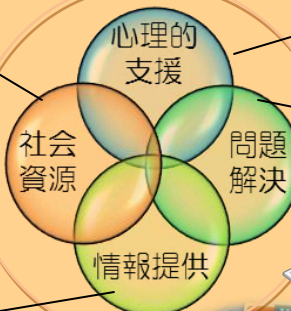


アロマや音楽などでリラックスできるように心がけています。

利用可能な経済的支援制度や介護・福祉のサービスを一緒に探します。



## がん相談支援センターの役割



不安、怒り、混乱など、お話を伺うことで気持ちの整理をお手伝いします。

医療者との関係や治療に関する決定、在宅療養に関する心配事などを解決するお手伝いをします。



セカンドオピニオンや治療、利用できる制度、心理的な反応などについての情報提供をしています

がんの療養に関連する本の貸し出しをしています。絵本など気軽に読めるものから少し専門的なものまで取り揃えています。

場所は、1階正面ホールの図書コーナー前です。



相談方法：電話または来談にてご相談ください

時間： 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

連絡先： TEL・FAX 0748-65-1641 (直通)

相談された内容が、ご本人の了解なしに、担当医やほかの方に伝わることはありません。安心してご相談ください。





## 第35回 健康講座が、7月7日（土）開催されました

in 社会福祉センター



今回の講座では「あごの変形って治るの？」をテーマとし、当院の角熊 雅彦医師より講演をさせていただきました。

当日は、当初の参加申込人数より、多い68名のご参加をいただきました。

次回の参加もお待ちしています！！



### 次回の講座案内

#### ① 健康講座

日時：平成24年10月20日（土）

時間：14時～15時30分

場所：サンライフ甲西

内容：「コツコツ頑張って骨を元気に！」

講師：嶋 靖子 医師

#### ② がん医療講演

日時：平成24年11月17日（土）

時間：14時～16時30分

場所：水口センチュリーホテル

内容：「肺がんについて」

「共に支え、共に生きる」

講師：朝倉 庄志医師、沼野 尚美先生

#### 編集後記

まだまだ残暑厳しい日々が続いております。

雑草の逞しさには参りますが、風にゆれる生き生きした緑の木々は、目に優しくリラックスをさせてくれます。

夏の風物詩でもあるやっかいな蚊・・・。

蚊にさされなくなったらストレスが溜まっている証拠と言われるそうですが、リラックスができて蚊に刺されるのはいかなものかと（笑）

すでに、熱帯夜や夏日となっていますが、国を挙げての節電に、電気代の節約だ！と開き直り、夏は暑いもんだ！と気合を入れて、この夏を楽しく乗り切りたいものです。（M）

